

北食と農の見学交流会
主催：山形県中小企業家同友会 食・農部会



特集

東北食と農の見学交流会開催

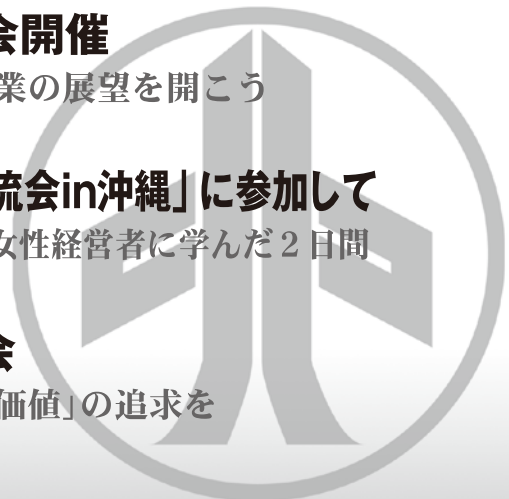
事業家として高い志を持ち、農業の展望を開こう

「第15回 女性経営者全国交流会in沖縄」に参加して

沖縄の歴史と文化に触れ、全国の女性経営者に学んだ2日間

第44回 中同協全国総会

新たな市場への挑戦と「意味的価値」の追求を



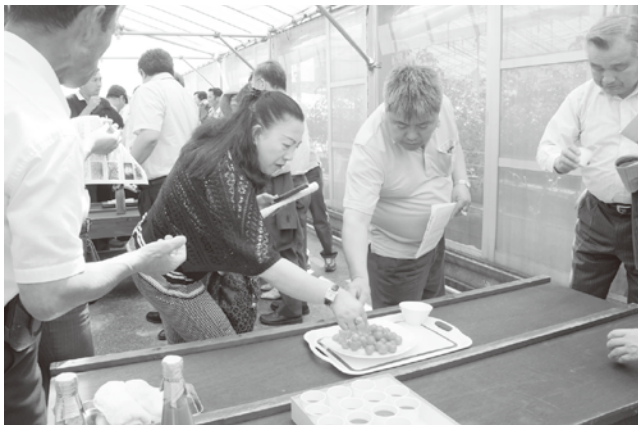
東北食と農の
見学交流会開催

事業家として高い志を持ち、 農業の展望を開こう

6月28日～29日、「東北食と農の見学交流会」が、山形同友会食・農部会の主催で、山形県天童市・ほほえみの宿 滝の湯をメイン会場に開催され、東北六県をはじめ愛知、香川の農業関連会員や食糧生産に関心のある方など、50名が参加しました。

“日本の食糧基地である東北の食と農を考えることが地域と日本を変える”という大きな志で毎年1回集う場をつくろうと始まった本交流会。宮城、青森で行われ、昨年山形で開かれる予定でしたが、東日本大震災の影響から二年ぶりの開催となりました。

懇親会では、「利き酒大会」や山形ならではの「さくらんぼの種飛ばし大会」といったアトラクションも行われ、山形を満喫する楽しい交流会となりました。



高い志で農業の現実に挑戦

一日目は、最初に「次世代の子どもたちのために」という水沢正志社長の強い想いから(株)アイ・タックルのアグリ事業部として一昨年生まれた「とまとの森」を見学。ハウスにはモーツァルトの曲が流れ、それを聴いて育った完熟トマトは、糖度が高く甘いのが特徴です。同社では、トマトの中のアミノ酸量を増やす微生物農法、ハーブの一種であるステビアを使用する農法を取り入れ、天然有機肥料を使い、農薬を極力使わない方法で、「安心」「安全」「美味しい」トマトを栽培しています。また、塩も水も使わないトマトジュースをはじめケチャップ、トマトソフトクリームなど、加工品の開発・販売にも力を入れています。

ハウスの周辺では耕作放棄地を借り受け、紅花を栽培しています。かつて一大産地として名を馳せ、山形県の県花でもある紅花ですが、水沢氏が借り受けた5反歩の土地に紅花を植えただけで山形県一の耕作面積となりました。18名

の栽培農家の会に入ると、一番若い人は75歳。このままでは伝統の紅花生産が消えてしまうと、ボランティアをからめた企画で地域の歴史の伝承にも取り組む水沢氏は、「農業は儲からない。そのため就農人口の減少・高齢化が進んでいる。志だけでやっている。我々は企業家として農業の現実に取り組む必要がある」と、問題提起しました。

さくらんぼ狩りを体験

続いて訪れたのは、サクランボ・ぶどう・もも・リンゴ・ラフランスを生産する王将観光果樹園。サクランボの収穫は、天候によって多少期間が変わるのですが、同園ではハウス等も活用し、毎年5月20日から7月15日までサクランボ狩りを楽しむことができ、販売も約95%を直販しています。水はけのよい土地と気候の寒暖差が果樹栽培には適しているという園地で、矢萩美智社長より説明を受けた後、今が最盛期のさくらんぼ狩りを体験しました。





蔵人の感性を注いだ酒造り

㈱六歌仙は、北村山地域の五つの酒造場が共同瓶詰工場として合併し、新しいブランドを立ち上げたのが始まりで、平安の歌人の歌が人々にやさしく響きわたったのを日本酒で表現しようという思いから「みちのく六歌仙」と命名。その後、蔵の老朽化、蔵人の高齢化、後継者問題もあり、昭和60年に六歌仙酒造協業組合として新しい蔵を建て一本化を図りました。

地酒という山形にこだわった酒造りで、原料となるお米は95%が山形産です。リキュールも山形の農産物にこだわっています。

松岡茂和社長は、「酒というものに真剣に取り組みたい蔵人の思いを入れた形で新蔵を建てました。酒造りはもともと微生物が作り出すもので、それを管理するのが我々人間です。そこに人の感性、蔵人の感性をどれだけ注ぎこめるかが手づくりの最骨頂とと思っている」と思いを語りました。

地域の食文化を見つめ直す



二日目は、「在来作物は生きた文化財」と語る渡辺智史監

督のお話を交え、山形県で在来作物とその種を守る人々のドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」を鑑賞。

食の安全を訴えるドキュメンタリー映画を沢山見ていた渡辺氏は、その答えを提示するものはないと感じていました。自ら解決策を追求していた時、「在来作物の種」というテーマに出会い、在来野菜の種を守ってきた生産者の方を記録したいという思いからこの映画を制作。戦前・戦中・戦後の生活文化が急速に失われつつある今、農業の原風景を記録してきました。

現在、食文化の新しい位置づけとして在来作物が見直されつつあり、ローカルフードというキーワードで世界中のいろんな方々が地域の食文化を見つめ直す動きがあることを紹介。そして、「その時代に売れないからといって手放しても、後の時代に価値のあるものかもしれない。昔の人々は、次の人達に残すという長いスパンで農業をされてきたのではないか。映画のキーワードの一つに“食べて守る”という考え方がある。食べ方を変えれば地域社会・日本をも変えるかもしれない」と語りました。

志と現実のギャップをどう埋めるか



グループ討論後、まとめに立った水沢座長は「在来作物は生きた文化財で食の大切さ、教育の大切さを感じさせてもらった。同友会メンバーである我々中小企業家は、ボランティア活動ではありません。我々は事業家として、農作業から農業へ、業として農業を捉え、継承しなければならない。どう付加価値を付け、新しい価値を創造するか。志と現実のギャップをいかに埋めるかです。経営指針を作成し、何のためにするのかを追求し、その上で連帯すれば農業の展望が開けるのではないか。希望を持って農業を捉えよう」と、力強く述べました。

「第15回女性経営者全国交流会in沖縄」に参加して 沖縄の歴史と文化に触れ、 全国の女性経営者に学んだ2日間

二つの台風の影響が心配された6月21～22日、「日本の地域の再生に女性の力を～見つめます地域を！結びます心を」メインテーマに第15回女性経営者全国交流会が、那覇市で開かれ、40同友会から457名が参加。山形同友会からも4名が参加しました。

参加者からの感想が届きましたので、紹介致します。



人は幸せになるために生まれてきた

有限会社東住宅産業 常務取締役 白鳥 明美

私が参加した第2分科会は、「経営者のプロとは？～社長の決断・社員の判断～」と題して、大阪同友会の総合広告企画制作の方の報告でした。「話を聞いているうちに、半分の方が涙しました。」というのも、この社長の決断とは、業績の下がった会社よりも、社員を守ったからです。社員をリストラせず、営業譲渡し、独立へ導き、自分は事業縮小と、決断したからです。リーマンショックの時に指針を作成はしていたが、企業理念、企業風土になっていないことに気付き、社員と膝を合わせて事業計画研修に参加しますが、時すでに遅く、幹部社員のリストラを考えますが、同友会で学んだ経営者の責任、人として考え、最後に「ありがとう」と言われたいと、事業縮小を選びました。

グループ討論では、意見が分かれました。人として、素晴らしいと感じた方もいれば、同業者からは、得意先を一つももらたたくらいでは食べていけないと、見方が変われば感じ方も180度違うことも学びました。

最終日、各分科会の報告を受け、座長のまとめの重要さも感じました。報告を聞いてなくともどんな報告で、どんな気付きがあったのか、手に取るようにわかりました。

最後に、「なんくるないさー、しわあすなー」沖縄で何度も目にも耳にもした言葉です。意味は、なるようになる、心配ないと、言うことなのですが、これには大事な上の句がありました。「まくつそーけー」、誠の道を行く、合わせると、「正直に生きていれば、なるようになる。心配するな」という言葉でした。最近では正直者が馬鹿を見るような世の中になっていますが、この言葉のように過ごせばいいかと、心から思いました。このほか、心が潤う話をたくさんお聞きしました。文化講演の崎原真弓さんや、宮城副代表理事のお話は、多くの国民に聞かせたいと、強く思いました。人は、幸せになるために生まれてきた。肝心(ちむぐくる)に響きました。

沖縄が大好きになり、帰ってきました。来年は、元気な大阪です。

女性ならではの視点と組織づくり

株式会社菓子工房ココイズミヤ 代表取締役 庄司 薫

女性経営者全国交流会に初めて参加をし、沖縄をはじめ全国から集まった女性経営者の熱い想いと前向きな姿勢に感動して帰ってきました。

私の参加した分科会は愛知から沖縄に嫁いで39年、民宿経営から始まり、ダスキン事業、障害者雇用、そして地域の特産を生かした新事業経営に至るまでの報告でした。一人の女性として人の輪を通して地域に広がり、地域に視点を置く経営



を実行されていて特に障害者雇用には感銘をうけました。

障害者をセンチメンタルな気持ちで雇用するのではなく、ちゃんとした戦力として雇用し、一人一人の不完全と多様性を認めて「労使見解」で確信した企業づくりをされていていらっしゃる方でした。

経営者である自分の不完全と社員の不完全を認めるという事は、頭ではわかっている、職場でのかかわりでは、自分が完全、そして社員にも完全を求めがちになってしまいます。

それは、母親が子どもを育てる時ととてもだぶりました。女性だからこそ、視点と組織の作り方、そしてやさしさと強さを感じ、私もそんな経営者になりたいと強く思いました。

この度は、山形から男性経営者の金田さんが参加されましたが、女性はもちろん、多くの男性にも参加いただき、同友会活動をお互いの立場から理解し活性化できたら素晴らしいと思いました。

新たな市場への挑戦と「意味的価値」の追求を

7/12～13日、第44回中同協全国総会が岐阜で開催され、全国の同友会から1163名が参加しました。

第1日目の全体挨拶で、鋤柄会長が、「私たちが経済の牽引者として、同友会の3つの目的の総合実践をしよう」と呼びかけ、経済の空洞化をコップに残った水の量にたとえ、「もう半分しかないか「まだ、半分ある」と見るか。ヨーロッパは1億人の人口がいるところは少なく、人の知恵で歴史を作ってきた。知恵を使い、将来を見据えた学びをしよう」と訴えました。



山形から3名が参加。安藤社長は、第4分科会「経営指針の浸透で社員の夢が叶う企業づくり」のテーマで、広島同友会の(株)タテシ広美社 立石社長の報告に学びました。

タクシーの例をだし、社長(社員)は運転手かお客かと問いかけました。行き先がわからない社員が運転手だとすると、後ろから社長が常に指示をしなければならない。経営指針があれば、指示をしなくても目標に向かって進むと経営指針の重要性を再確認しました。

見学分科会は、「常に考える」をスローガンに、社員のやる気を引き出す経営で、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞した未来工業を見学。参加した金田社長は、「報告・連絡・相談がいらぬことが信じられない」と驚きを隠せません。制服もノルマもない。普通の会社とは全く逆のやり方で、「改



善提案で社内から変えていくことを参考にしたい」と感想を述べました。

2日目、特別パネルディスカッションは、中同協副会長の宮崎社長、田中社長、守会長が2012年運動方針をさらに深める立場から運動課題を提起しました。

宮崎氏は情勢認識をやってこそ戦略がたてられるとし、「中小企業はアナログに付加価値をつける。出口での連携」を強調。田中氏は、同友会のリーダーの役割と「地域にあてにされるために、自社を高い評価を受けるようにすること。」と指摘。守氏は、「地域からの期待に応え、全自治体の振興条例制定と会員増強と合わせた取り組みが必要」と強調しました。

中同協の総会議案集には、多面的な運動方針が提起され、新たな市場への挑戦と意味的価値の追求が強調されました。私が参加した第9分科会は、オーガニックコットン製品で市場創造をしている藤澤社長が報告。綿の生産から商品づくりで、「背景にある価値をビジネスに、そのビジネスを社会運動へ」との夢には大いに刺激を受けました。(文責:伊藤由紀子)



お知らせ

第40回 青年経営者全国交流会のご案内

集い 繋がり 結ばれる！ 出雲の「縁」で青年経営者が日本を動かす！

第40回青年経営者全国交流会が、10月4日から5日に鳥根県松江市で開かれます。
全国の仲間と学び合い、交流を深めましょう。

◎日 時：10月4日（木）13:30開会 ～ 5日（金）12:00閉会

◎会 場：全体会会場：松江テルサ 1Fホール

懇親会会場：くにびきメッセ 大展示場

分科会会場：くにびきメッセ・松江テルサ・松江アーバンホテル

◎参加費：20,000円（懇親会・記録集代含む／宿泊費別途）

◎スケジュール

10月4日（木） 12:30 受付開始（各会場ごと受付）
13:30 分科会開始
1日目 18:30 分科会終了、移動（チェックイン）
19:15 懇親会（会場：くにびきメッセ）
20:45 懇親会終了

10月5日（金） 9:00 全体会開始（会場：松江テルサ）
9:30 記念講演
2日目 11:00 分科会報告
11:30 まとめ
12:00 閉会



参加申込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

幹部社員研修 第1講

稼ぐ幹部社員になるための実践編

◎日 時：9月5日（水）18:00～21:00

◎場 所：山形ビッグウイング 4F 研修室

◎講 師：税理士 奥山享氏

寒河江・さくらんぼ支部合同例会

「新しい仕事づくり」～挑戦こそわが社のDNA～

◎日 時：9月25日（火）18:30～21:00

◎場 所：プラザシンフォニー（河北町）

◎講 師：(株)ヴィ・クルー 代表取締役 佐藤全氏（宮城同友会理事）

山形支部第1回会員交流会「ゴルフコンペ」結果

7月19日、蔵王カントリークラブに於いてゴルフコンペが行われ、
庄司信彦氏が優勝しました。おめでとうございます。

第1位 庄司信彦氏（㈲そば処庄司屋 専務取締役）

第2位 兼子和伴氏（兼子会計事務所 所長）

第3位 越前屋忍氏（㈲アド・プランニング越前屋 代表取締役）

全県行事

第10回 経営研究集会

決定!!

山形から 日本を変える

◎日 時：11月9日（金）
13:30～20:30

◎場 所：パレスグランデール

◎講 師：慶應義塾大学先端
生命科学研究所
所長 富田 勝氏

◎タイムスケジュール

第1部 記念講演 13:30～

第2部 大グループ討論 15:25～

第3部 懇親会 18:40～

8月支部例会案内

どちらの支部例会にも参加できます。詳細は、e.doyuまたはHPをご覧ください。

寒
河
江
支
部

ビアパーティのご案内

- 日 時: 8月20日(月)午後7時～
- 場 所: FoodBarび～しゃいん
(寒河江市本町2-1-37 TEL0237-85-5354)
- 参加費: 3,500円

会員同士のつながりを交流で深めましょう!顔を合わせれば、「元気が!」「がんばっているか!」と声を掛け合える仲間がいます。何時でも、誰とでも気軽に「経営談義」ができます。ちょっとした会話の中に、新しい仕事の“種”、元気の“種”がたくさんあります。

8月例会に、ちょっと立ち寄ってみませんか。美味しい料理と冷たいビールを飲みながら、大いに語りあいましょう。

ゲストの方の参加も大歓迎!!お問い合わせの上、奮ってのご参加お待ちしております。

山
形
支
部

真夏の祈願祭 IN 紅の蔵

- 日 時: 8月22日(水)18:00～
18:00～ご祈禱 18:30～懇親会
- 場 所: 紅の蔵
(山形市十日町2-1-8 TEL023-679-5102)
- 参加費: 5,000円
(祈禱料1,000円 懇親会費4,000円)

8月は昨年大好評だった納涼例会!今年は「真夏の祈願祭」と銘打って、清池八幡神社の鎌倉氏(神主)より商売繁盛、心願成就のご祈禱をして頂き、参加者一人ひとりに御札をいただきます。祈禱時の作法や神棚の祭り方など、お話もいただきます。

その後の懇親会では、冷たいビールを飲みながら仕事のこと、地域のことを語り合います。お互いを知り合う絶好の機会です。お問い合わせの上、奮ってのご参加お待ちしております。

庄
内
支
部

5年後、10年後の未来に向けて 社員の成長が見える仕組みづくり

- 日 時: 8月27日(月)18:30～
- 場 所: 鶴岡市総合保険福祉センター「にこふる」
(鶴岡市泉町5-30 TEL0235-25-2731)
- 報告者: (株)山形ハーネス 専務取締役
佐藤嘉博氏

景気やお客様の動向で左右される成り行き任せの経営から脱却したいと平成15年に同友会へ入会。社長は経営指針、専務は社員教育に参加。経営指針書の発表と同時にスタートした委員会活動は、現在会社の課題に取り組む活動に進化しました。リーマンショックや円高と外部環境の変化が揺さぶる中、経営理念・経営方針をベースとした年度計画を作成し、しっかりチェックしながら実行。「社員教育は未来への投資、社員が成長してこそ会社の未来は拓ける」と社内勉強会を実施し、成果主義ではなく、成長主義を貫く実践報告から人材育成について学び合います。

置
賜
支
部

東日本大震災で売上がゼロに! どん底での覚悟、そして復活へ

- 日 時: 8月28日(火)18:30～
- 場 所: 伝国の杜
(米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-8000)
- 報告者: (有)山形E旅 代表取締役
金田史生氏

2002年に兄弟で創業するものの社長が二人いるようなもので、社内は険悪なムード。社員も定着せず、次々と退社。業績が落ち込み悪循環が続く中、「いい会社になりたい!」と2010年に同友会の経営指針セミナーを受講し、本気で会社の変革に取り組みます。その矢先に起きた東日本大震災。震災直後からの数日間で、予約をいただいていた仕事が全てキャンセルに。売上の見通しが全く立たない中、事業を継続するかどうかの決断を迫られます。その時、浮かんだったのはお客さんと社員の顔。覚悟を決め、自らの進むべき道を邁進する金田社長の報告をもとに、経営者の決断について考え合います。

さ
く
ら
ん
ぼ
支
部

地域になくってはならない バイク店をめざして

- 日 時: 8月28日(火)18:30～
- 場 所: さくらんぼタントクルセンター
(東根市中央1-5-1 TEL0237-43-1155)
- 報告者: アンリミテッドプランニング(モトスポーツサトウ)
代表 佐藤伸二氏

創業1958年の「地域の自転車屋さん」として親しまれてきた家業を継ぎ、「モトスポーツサトウ」として新たなスタートしたのが24年前。バイク好きと確かな技術力でバイク専門店として、ピーク時は年商1億円を超える時もあったといいます。

しかし、時代の変化と共に、販売量が減り売上も減少。社員の課題を抱えながら、夢の実現を目標に、地域との関わり、新たな市場づくり、そして、幸せとは何だろうと自問自答する毎日。事業の継続性と新たな市場づくりを一緒に考えましょう。

第4回理事会報告

■日時:2012年7月11日(水)18:30~20:40 ■会場:同友会事務局 ■議長:越前屋理事
■出席:青柳、阿部(和)、伊藤、越前屋、川合、齋藤、佐藤(一)、松田、安藤、島貴、金田、委任状:後藤 事務局:伊藤、矢作(13名)

越前屋理事が議長を務め、安藤代表理事の開会挨拶で始まりました。挨拶は下記のとおりです。

「本日は、第2四半期のスタートの理事会で、非常にみなさんの意気込みを感じます。常任理事会でも、第1四半期のまとめをしました。みなさんも同じように到達状況を確認したと思います。昨年は東日本大震災で悪かった分、おそらく今年は良くなっていると思います。特に理事の方には、よい会社をめざしてもらい、同友会の魅力を語ってもらいたいと思います。

12日から、中同協の全国総会が岐阜であります。議案書では、同友会運動に確信を持ち、仲間を増やし、よい会社、よい経営環境づくりを両輪に「三つの目的の同時実践をめざそう」と提起しています。環境変化に対応した強じんな企業づくりをめざし、同友会で学び、会社で実践し、会員の方と本気で接してほしい。会社でいえば、社員が認められて会社が評価される。同友会も同じでどういった評価をされているかが問われています。同友会も一緒です。そのために、会員さんに想いをしっかり伝え、第2四半期に向けて、よりよい討議をしていきましょう。

■報告事項

1)各委員会報告・部会報告

①青柳理事が第17期経営指針作成セミナーの進捗状況と8月発表会に向けての取り組みを報告。

②阿部理事が、社員共育委員会の活動計画と人材育成に主眼を置いた毎月の委員会活動報告。

③齋藤理事が、6/13中小企業憲章学習会の報告。7/18開催の金融機関との学習会の出席依頼があり、特に経営指針の受講生を優先に声掛けすることを確認。シリーズ化として開催する予定。また、要望として、各支部幹事会で、10分位「中小企業憲章」の学習会と金融機関の学習会を庄内支部で開催を検討している点について、要請がありました。

④伊藤事務局長が、「東北食と農の見学交流会」の成果と特徴を報告。

⑤矢作事務局主任が、女性経営者全国交流会の報告。

2)支部報告

①山形支部:例会は9月まで報告者が決まっている。年間テーマが決まっており順調に進んでいる。増強は1カ月遅れている。

②置賜支部:6月例会のゲストの方が本日入会しました。ワングストに力を入れている。

③寒河江支部:目標まで8名、2カ月ペースで入会目標を決定。支部会員に、日本一に選ばれた若い経営者が2名(美容師、花のアレンジ)いて、お祝いしようという声もあり、若い会員が健闘している。

*9月に寒河江・さくらんぼ支部の合同例会があり、増強につなげていく。

④さくらんぼ支部:楽しく、経営課題にとことんこだわった活動を展開中。経営指針作成セミナーに4名受講し、支部幹事会で補講開催。東北食と農の見学交流会に6名出席。見学先が(株)アイ、タックルさん、六歌仙さんと支部の会員企業でした。「増強は例会にあり」、事前打ち合わせを重視し、何のために経営しているのかを引き出す。増強は、10の小グループで、1名ずつ増やしていく。

⑤庄内支部:社員教育に力をいれている。幹部社員研修を2回連続開催。50名参加し好評だった。酒田地区での例会開催をしていく。

3)伊藤事務局長より、第1四半期の決算報告をしました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会 7/11日現在 404名

■討議事項

議題1:山形支部活動費の件

青柳支部長より、山形支部活動費の小グループ活動の予算(10万円)から、小グループリーダー・支部幹事の会議時の飲食代に充てることについての要望がされました。

審議の結果、今回は山形支部予算から、小グループリーダーと支部幹事の会合に充てる事が承認されました。

議題2:組織方針の課題について

松田代表理事より、第1四半期の到達状況と現在404名に達成したことが報告されました。各支部の例会出席率のデータの説明があり、支部幹事会で検討してもらいたいと要望がありました。

①第1四半期の反省点として、理事会で決定したあとのチェックが甘く、『お願いします』で終わっている。成果として、厳しいなかで、3名の入会があったということが重要。この人たちが声掛けをするようになれば、そこに増えるという要素がある。出来たことへの評価が大事です。第2四半期も引き続き、1名でも多くのゲストの呼びかけをしていくことを確認。

②最上支部立ち上げの活動について

松田代表理事より、同友会知事会(7/23)の取り組みの報告と10月か11月頃に準備会発足の提案があったが、設立発足準備会については、常任理事会で再検討することになった。

議題3:第10回経営研究会の件

金田実行委員長より実行委員会の報告と開催要項等の提案があり、開催日時:11月9日(金)午後1時30分~午後8時30分、会場:パレスグランデール、会費:参加費2,000円/懇親会費5,000円、規模:200名と決定。記念講演の講師に慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝氏に決定。また、3つの開催目的、スローガン「山形から日本を変える」に決定した。

今回は、200名規模の大グループ討論を予定し、グループ長研修に力をいれていく事が報告されました。

■その他

①事務所エアコンを交換。(7/14設置済)

②中同協青全交の参加動員について(10/4~5 島根)目標:2名

③「スモールサン学習会」の後援を決定し、事務局から開催案内をすることになりました。

④阿部理事より、同友会のパンフレットに入れる勧誘の資料を、次回理事会までに提案します。

⑤川合代表理事より、中同協DORの100号記念集会の案内。

⑥次回理事会日程

●日時:8月8日(水)午後6時30分~午後8時30分 ●会場:同友会事務局

■閉会挨拶(川合代表理事)

白熱した議論で、20分オーバーの理事会となりました。理事会では反対意見があってもしっかりと話あい、納得したうえで総意で方向性を見出していくことが、同友会のいいところです。

今回の理事会から、各支部、委員会・部会の報告時間をとるようにしました。それぞれどんな課題があるのかを出し合い、課題解決の意見・アイデアを出し合えば、いい活動が出来るのかと思います。明日から岐阜で全国総会があります。参加される方は、爽りのある学びを山形同友会にフィードバックしてください。

新会員紹介

◎ 佐藤 一嘉氏

(株)快適空間 代表取締役
業種 建築物の清掃、断熱塗装、
断熱ガラスコート
庄内支部

◎ 福崎 真知子氏

ジーエスデザイン(株) 代表取締役
業種 情報サービス、
総合企画デザイン、印刷
置賜支部

◎ 齊藤 貴裕氏

たからもん農場
業種 農業
寒河江支部

会員名・役職変更

- (株)三ツ柳道路 常務取締役 嘉藤国昭氏(置賜支部)
⇒ 副社長 伊藤博文氏へ変更
- (株)花泉 店長 大泉拓也氏(寒河江支部)
⇒ 代表取締役へ変更
- (株)スガタ商事 専務取締役 菅野清文氏(寒河江支部)
⇒ 代表取締役社長へ変更
- (有)土屋印刷 代表取締役 土屋正介氏(さくらんぼ支部)
⇒ 岡崎ルツ子氏へ変更

同友やまがた8月号 (2012年8月1日発行/通巻233号)

From Editor

★中同協の全国総会は、シンプルの中に、今年度の骨太な方針が決定され総会らしい総会でした。特に議案集は、企業づくり、同友会づくり、地域づくりの方向性と方針・戦略まで描かれています。第2章の「中小企業をめぐる情勢」は、社内学習資料としても利用されています。6/5号の中小企業家しんぶんにも掲載され、議案集としても発行しています。★特別パネルディスカッションは、3名のパネラー(中同協副会長)とコーディネーターの広浜幹事長。約42000名会員のトップリーダー、その実践から学ぶことが大きい。「何を持って現状認識をするのか。現状を分らずに戦略が立てられますか?」「強い会社になりたいという課題を持って活動してきた。会社の未来をつくるの

が経営者の役割」の言葉に、心が奮い立ちます。★分科会では、新しい仕事づくりの実践者たちがこんなにいるのかと驚きました。全国の仲間とつながり新規事業へ。エステサロンを運営されている方は、健康を事業領域にし、自社農園のグアバ茶を生産・販売しているなど、未知の可能性に勇気もらいました。★全国には素晴らしい経営者がいます。7月12日が誕生日だという勤柄会長もおひとりです。「同友会は役をこなして成長していく。時間がかかるが、新しい自分をつくる、新しい自分を成長させていくことから始まる。自分を鍛える気持ちで役をやってはどうでしょうか。私もそのつもりです」と語ります。会歴32年、学ぶ点は極めるということでしょうか。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp